

【平成21年度上期】

概要公表

平成21年度上期（4月～9月）においてレベル3の医療過誤は1件発生した。

	概要	原因	改善・対応策
レベ ル3	<p>（事故の内容）</p> <p>経肛門的直腸ポリープ・粘膜切除術を行った際に、術者はガーゼ1枚の不足の報告を受けたが、ガーゼ残存の確認を十分行わないまま、手術を終了した。</p> <p>（措置）</p> <p>患者の帰室後、手術室の看護師は再度、術者にガーゼ枚数が不足していたことを伝えた。それを受けレントゲン撮影を行った結果、体内にガーゼ残存が確認されたため、翌日、開創手術を行い、ガーゼを除去した。</p>	<ul style="list-style-type: none"><li>・術者はガーゼ不足の報告を受けたが、手術創部が狭くガーゼが入り込むスペースがないことから、ガーゼの残存はないと思い込んだこと。</li><li>・手術時間が予定より長くかかり、出血量が多く患者への侵襲が大きくなったため早く手術を終了したいと思ったこと。</li><li>・手術室でのレントゲン撮影でガーゼ残存の確認を怠ったこと。</li></ul>	<p>緊急協議会議において、関係者から事実の確認及び検証を行い、担当部長から術者に対して嚴重注意し、ガーゼ残存の確認について周知徹底を図るよう指導した。</p> <p>（ ）</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・手術終了前に、ガーゼの枚数が合わないときは、術者は手術創部内のガーゼ残存の有無を再度確認する。</li><li>・再度確認してもガーゼが不明の場合には、必ず手術終了前に、レントゲン撮影を行う。</li></ul>